# ボランティア

# 墓集!

ビーンズふくしまではすべての生きにくさを抱える子ども若者が、自ら望む姿でつながることができる社会を目指して、一緒に活動して頂ける仲間を募集しています!

業務内容、得意分野、好きな事、時間帯・地域などによって、参加しやすいボランティア活動を下記よりお選びの上、各事業に直接お問い合わせください。



### フリースクール ビーンズふくしま

- ●内容/フリースクールに通う子どもたちと、遊んだり、話したり、一緒に過ごして、子どもたちが安心できる場所を創る
- ●日時/火~土曜日 9:00~17:00
- ●場所/福島市八木田
- ●お問合せ先/024-529-5184

#### ユースプレイス事業

- ●内容/仲間と共に活動する若者のための居場所作りを行う
- ●日時/月〜土曜日 10:00〜17:00のうち4時間程度
- ●場所/福島市または郡山市
- ●お問い合せ先(各担当者直通) 県北地域/080-4184-9438 県中地域/080-3219-3967



### うつくしまふくしま子ども未来応援プロジェクト

- ●内容/仮設住宅などで避難生活を送っている子どもたちを対象に、学習支援や遊びのプログラムを行う。
- ●日時/火~土曜日 16:00~20:00
- ■場所/しのぶ台仮設住宅、笹谷東部仮設住宅、復興公営住宅(三春町・二本松市)、ふたば開成楽舎(郡山市島)など
- ●お問い合せ先 県北地域/024-573-0150 県中地域/024-983-9481

# 貧困世帯の学習支援事業

- ●内容/生活保護世帯への個別学習及び 集団活動のサポート
- ●日時/火~金曜日15:00~20:00、 土曜日10:00~17:00
- ●場所/県北地域(桑折町、新地町など)
- ●お問合せ先(担当者直通) 080-9413-5241

# アンケートのお願い ピーンズ通

ピージス通 信をいつもお 読 み い た だ

き、ありがとうございます。また、前回へのアンケートに お答えいただいた皆さま、お忙しい中、本当にありがとう ございました。皆さまからの温かいメッセージにあらため て感謝いたしますと共に、より皆さまに読みやすい紙面 作りをしていく必要があることを感じました。そこで、皆 さまにはお手をおかけすることは十分承知の上で、今回 もアンケートを取らせていただきたく、ご協力のほどあら ためてお願いいたします。

前回はこれまでのビーンズ通信についてのアンケートでしたが、今回は、ビーンズ通信vol.84に関してのアンケートとなります。皆さまの率直なご意見

をいただきたいと思っておりますので、ど うぞよろしくお願いいたします。

なお、前回同様、同封しましたアンケート用紙にご記入の上、FAXにてご返信いただくか、項目ごとに番号を記入の上、メールにてのご返信をお願いいたします。



今年度も、ビーンズふくしまのそれぞれの事業を通して、多くの子どもたち、若者たち、ご家族の皆さまとつながること

ができております。これも、皆さんのご支援があってビーンズふくしまの活動を続けていくことができているおかげです。心から感謝しております。

1人1人が本来持っている力を、出せるように共にいることが、ビーンズふくしまの役割であり、そういう場を創っていくことがビーンズふくしまの役割だと思っています。

しかし、子ども若者たちにとって必要な居場所は、今ある既存の制度やし くみでは維持することができないのが現状です。

不登校の子どもたちの居場所・若者の活動の場の継続など、これからも子ども若者に充実した支援を届け続けるために、皆さまのご支援が必要です。子どもたち・若者たちの育ちを支えるためのご寄付のご協力をお願い申し上げます。

【銀行振込み】東邦銀行 本店営業部 普通口座 3692401 口座名義:特定非営利活動法人ビーンズふくしま 理事 若月ちよ

【郵便振込み】口座番号:02240-3-38521

加入者名:NPO法人ビーンズふくしま

※なお、詳細は事務局にお問い合わせください。

お振込の際には事務局にご一報ください。

# | The content of th

http://www.beans-fukushima.or.jp/

# 

フリースクールの子どもたちがどんな成長をしているのか、外からではなかなか見えにくい部分があります。フリースクールに通ってみて、どんなことがあったのか。なにか変化したことはあったのか。すでに社会に出て自分の道を歩んでいる卒業生に、フリースクールのスタッフが聞いてみました。

### 「とりあえず行ってみよっか」 がはじまり

**佐々木●**汐里さんがフリースクールに 来たきっかけってなんだったっけ?

沖●学校に行かず家にいた時期に、2つ折りの携帯電話を買ってもらってて。 暇だから、夜にいろいろ調べたりする じゃないですか。で、小学校のときに 見たフリースクールかなにかを題材に したお話が記憶に残ってたので、そう いうところあったらいいな、そうだっ たら行きたいな、と思って調べて。福 島にあるのかな?と思いながら調べ ていたら、見覚えのある地名で。 「え!?学区内にある!?」って(笑)

佐々木●意外と近所だった(笑)

沖●それで、お母さんと外でお昼ごはんを食べたときにその話をしたら、お母さんがすぐ、お店の駐車場で「とりあえず電話してみよう」って言って。電話してみたら、「見学で

きますよ」って言われたのでそのまま 行きましたね。

**佐々木**●あ、そのまま来たんだ?すぐに!?……すごいね、その勇気。

**沖●**学校行くよりは全然怖くなかったです。なんですかね……たぶんお母さんの性格もあるんですかね。めっちゃ軽く「行ってみよっか」て言ってくれたんで。そこがいいところだと思うんですけど。

**佐々木●**最初の、フリースクールの印象ってどんな感じだった?

**沖●**「おぉ、家!?一軒家!?」って(笑) 施設みたいな、大きなところではなく て。ちょっと抱いてたイメージとは違く て。で、中に入ってみたらめっちゃ人い るし。……びっくりした。でも、楽しそ うだな、って思いました。年齢もいろん な人がいて。

> **佐々木●**そこは汐里ちゃんに とって、「楽しそうって」感じる ところだったんだ。

沖●あと、男の子が多かったのも 個人的にはよかったのかな。当時 は女の子が怖いな……っていうか苦 手意識があったので。男の子としゃべ る方が楽かな、って。あの時の私には、 そこもよかったのかなって思います。

逃げ込める場所があるから、 学校にも行けた

**佐々木●**フリースクールに通うように なって、自分で変わった な、と思うところは? 道信 vol.84

●発行日/2017年11月10日

●発行元

特定非営利活動法人

# ビーンズふくしま

〒960-8066 福島県福島市矢剣町22-5 2F TEL&FAX 024-563-6255

URL http://www.beans-fukushima.or.jp E-mail info@beans-fukushima.or.jp

NPO法人ビーンズふくしまは、不登校の子どもやひきこもりの青年などに安心できる居場所を提供し、1人1人に寄り添って、ゆるやかな社会参加を促し、その自立を支援する、若者支援の理念に基づいて事業を展開しています。

沖●フリースクールがあったから、ちょっとずつ学校に行けるようになりましたね。逃げ込める場所だから。夏休み明けとか、頑張って学校に行ってみたんですけど、やっぱりだめで……そうして折れたときに親も「せっかく行けたのに」みたいな雰囲気になったんですよ。でも、「ごめん、無理! | っていって。……それで、家に



**0**04

# 私にとってのフリースクール

フリースクールに行ってました。 **佐々木●**そうだったんだ。

沖●そうやってフリースクールに通って、また学校に行けそうになったら週1回とか行ってみたりして。行ってもダメな時は、家に帰るかフリースクールに行くようにして。でもやっぱり、家にいたくないときもあるじゃないですか、どうしても。そういうときは、フリースクールに来てた方が楽だったし……。
佐々木●うんうん。

沖●私、1回バキッて折れると、「ひきこもって外に出ないぞ」という状態になって起き上がるのに時間がかかるから。それが自分でもわかってたので、なるべくフリースクールに行ってましたね。ダメだった時に、いったんフリースクールに戻る。ちょっと保留で、って感じで(笑)

佐々木●そっか。1回折れたときや疲れたときに行ける場所だったんだね。

# 楽しいことを たくさん経験して "生きるための活力"に 気づけた

佐々木●フリースクールって「学校行かずに甘えてるのでは?」とか「好き勝手に過ごしてるだけでしょ?」とか見られてしまうことがあるんだけど、それについてどう思う?

沖●フリースクールを卒業してみて思うのは……なんだろ。とりあえず、私がフリースクールの外に出れたのって、ここでいっぱい楽しいことをしたからだと思っていて。私がいた頃って震災もあって、いろいろと外部から「来てみませんか?」みたいな機会もあって、旅行とかすごく行った記憶があって……あれが本当に楽しくって。母子家庭だったので、家族で旅行に行くのは限界があったし。学校とは



違う、友だち――フリースクールのメ ンバーと、遠出したりキャンプしたり。 近場でもちょっと体育館で遊んだりっ てするのは、私にとってすごく新鮮 だったし、**楽しいことをいっぱいす** るっていうのは、「生きてるの楽し い」じゃないですけど、なんか活力 になる。もしかしたら甘えって思える かもしれないけど、その子が楽しいと 思うことならゲームであろうが遊びに 行くであろうが、何かしら見えてくる はずで。外に出れる元気とかタイミン グがあるんだったら、いろんなところ に行ったり、いろんな人の話を聞くの でもいいし。ただ遊びに行ったり、 プールに行くとかでも。私は、会津に いったのも楽しかったですね。そうい うのがいいんじゃないかな……。

佐々木●生きる活力、というわけだね。 し……そうやって自分で選択してます。

沖●なんか、好きなことだけやるっていうのも、そんなに悪くは……。できる環境があって、そうしているのなら、それがその子の精一杯なわけだから。楽しいことしていいじゃないですか。

**佐々木●**楽しいっていうのが「楽をしてる」というわけではないもんね。

沖●フリースクールを卒業してから、大変なことは正直いっぱいあったけど、あの時に「外に出るのって楽しいな」とか「遊ぶことって楽しいな」って思ったから、楽しいことのためにちょっと頑張ろうと思えるようになった。ひとりで旅行とか行きたいからもうちょっと頑張ろう、とか。自分がやりたいと思うことがすごく大変なことでも、「楽しそうだな」と思えば頑張ろうとかやってみようと思うし……そうやって自分で選択してます。

# 自分で 選択できるようになって、 生きやすくなった

**佐々木●**汐里さんにとって、フリース クールとは?

沖●「楽しいな」という気持ちや「自分はこういうとき楽しいんだな」っていうのを実感できたし、いっぱい悩んだ。楽しいことだけじゃなくいろいろとあったけど、この環境があったからちゃんと悩めたし、ちゃんと楽しめたし。自分で選択してくっていう能力がついていったと思う。この時期に相談できる人がいて、たくさん悩むことができて、自分にとって楽しいことにも気づけたのが、私にとってすごく大事なことで。……そういう場所だった。今は、だいぶ生きやすくなったな、と思います。

沖 汐里さん(20歳) 中学1年生(2010年7月)に通い始め、 高校1年生(2013年)のときに休会したのち卒業。



